

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

第23回 定期大会を開催

航空連合は、10月4日、東京・大田区民ホール・アプリコおよびオンライン(Zoom)において、感染対策を徹底したうえで約260名の代議員、執行部の出席のもと、第23回定期大会を開催しました。

本大会は、役員は会場に集合し、代議員の皆さんにはオンラインで参加いただく、ハイブリッド形式で開催することとした。コロナ禍が始まって間もなく2年になる。航空各社の減便は続き、テレワークの推進や在籍型出向の導入など、新しい働き方も推し進められ、この1年、私たち航空関連産業で働く者を取り巻く環境は大きく変化した。

第22期は、環境変化にどのように対応するか、産業の危機に対して、産別組合としてどのように対峙していくかを主眼に取り組みを進めた。2021春闘は、労働条件面では「産業の維持・存続」と「雇用の確保」を重点項目としたうえで、目の前の危機を労使で乗り越え、再び必ず訪れる需要の回復局面に向けて、人への投資と活力の好循環を実現する重要性を労使で確認する春闘となった。賃金改善は極めて困難であり、多くの労組で回答を引き出すことはできなかったものの、そのほかの労働諸条件の改善を通じ、働き続けられる職場環境づくり、そして何よりも雇用の確保を図ることができ、組合員の安心感の醸成につなげることができた。産業政策では、雇用調整助成金の特例措置の延長や産業雇用安定助成金の新設と適用範囲の拡大などが実現するとともに、産業全体への支援として公租公課の減免などが盛り込まれた「コロナ時代の航空・空港の経営基盤強化に向けた支援施策パッケージ」が示された。直近では、

私たちと同様に甚大な影響を受けているJRや旅行宿泊産業の仲間とともに、「移動や観光に対する国民の不安払しょく」や「期間の長さを重視した需要喚起のための助成制度の創設」を求め、関係閣僚に要請を行うとともに、諸外国との交流再開に向けたデジタルパスポートの早期整備、空港における検疫体制強化など、国内外への移動を速やかかつ円滑に実現するべく、要請行動を行っている。また、結成以来の悲願である航空保安体制の強化に向け、法律への保安検査の位置づけの明記、利用者に対する保安検査の確実な実施などを盛り込んだ航空法の改正が実現した。この法改正は、航空連合が主張する「国が航空保安の一義的な責任を負うべき」という考えの実現に向けた大きな一歩ではあるが、関係者間の役割分担や費用負担の在り方など、残された課題も多くある。

第23期は、新型コロナへの対応に取り組みつつ、収束後の社会を見すえ、よりよい航空関連産業の実現に向けたさまざまな政策の実現に取り組まなくてはならない。産業の存続をかけ、目の前の危機を乗り越えるべく、厳しい施策を含めて労使で取り組みを続けてきた。私たちが目指すビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りを持って働ける産業」を共有し、その実現に向けて全員で、ともに歩みを進めていきたい。

- 第一号議案
新規加盟組合の報告・確認
- 第二号議案
第22期活動報告及び第23期～第24期運動方針(案)
- 第三号議案
第22期決算報告・剰余金処分(案)、第23期予算(案)
- 第四号議案
航空連合 ジェンダー平等推進計画(案)
- 第五号議案
航空連合 役員選挙規定の改定
- 第六号議案
航空連合 規約・規定の改廃
- 第七号議案
2021-2022 産業政策提言(案)
- 第八号議案
第23期役員の選出

大会に付議された
議案は全て決裁
承認されました。



島会長
挨拶
(要旨)



航空連合

は、航空関連産業で働く仲間・労働組合が大同団結し、産業の魅力の向上や基盤の強化に向けて1999年10月に結成された、航空労働界を代表する最大の産業別労働組合です。56の企業別組合の47,317人(うち客室乗務員約1万4000人)で構成され、ナショナルセンター「連合」に加盟しています。

01 ご来賓挨拶

連合 神津里季生会長、国土交通省航空局 海谷厚志次長から激励のご挨拶をいただきました。

連合
神津会長航空局
海谷次長**02 新規加盟組合の報告・確認**

1組合の新規加盟、1組合の名称変更が満場一致で確認されました。第23期は正加盟56組合47,317名でスタートします。

新規加盟

組織名	ANA X労働組合 (ANXユニオン)		
委員長	石原 有紗 (いしはら ありさ)	組合員数	324名
会社概要	旅行事業、航空販促事業、ライフサービス事業、ソリューション事業		
加盟日	2021年9月15日 (第22期第11回中央執行委員会承認) ANXユニオン 石原委員長		



名称変更

組織名	ANA あきんど労働組合 (AKDユニオン)		
委員長	上田 あゆみ (うえだ あゆみ)	組合員数	331名
会社概要	地域創生事業、航空セールス事業		

AKDユニオン 上田委員長

**03 第23期—第24期運動方針 (案)**

産業の存続にかかわる未曾有の危機の中、「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」を目指すことを航空連合のビジョンに掲げ、「事業・産業の存続と雇用の確保・拡大」「圧倒的な生産性向上の実現と成果の公正な配分」「運動の変革へのあくなき挑戦と社会的課題への対応強化」に取り組み、産業の将来展望につながる運動を力強く推進していく方針案が確認されました。

代議員 一時金の減額や月給賃金の減額により生活水準を下げなければいけない中で、組合としても大変苦しい意見をたくさんいただいている。会社へも意見を伝えているが、産業全体で情報交換や情報共有をする場や仕組みをつくっていただきたい。

航空連合 労働条件の早期回復についても、労使でしっかりと議論をしつつ、産業全体として情報共有、意見交換の場を積極的に設定するとともに、公租公課の減免等の産業政策の働きかけも継続していく。

代議員 空港でのお客様の安全阻害行為についても検討をお願いしたい。昨今、制限区域内での電子タバコの使用やエンジンへ近づくなどの事象が発生している。客室内での安全阻害行為だけでなく、空港における安全阻害行為の防止についても重点的に取り組んでいただきたい。

航空連合 ランプエリアでの安全阻害行為への対策については、しっかりと働きかけをしていく。また、提言の進捗状況のリスト化を進め、経営層との共有を図り、ひとつずつ政策の実現に向けて継続的に進めていきたい。

04 航空連合ジェンダー平等推進計画 (案)

代議員 ライフイベントと組合活動との両立について、育児を行っている組合員の活動参画をどのようにしていくのが良いのか、アドバイスをお願いしたい。

航空連合 まずはライフイベントがあっても昼の時間で組合活動をするなど、時間的な面で両立していくことが必要である。また、担当が抱え込むのではなく、他の人がカバーできるよう複数名をアサインするなどの支援体制を検討いただきたい。加えて、三役がライフイベントを大切にする行動を率先垂範で示すことが大切である。

**05 2021-2022産業政策提言 (案)**

働くものの立場から航空関連産業の健全な発展を目指し、策定された産業政策提言が確認されました。

代議員 飲酒に関する不適切事案の根絶に向けた取り組みを継続していく必要がある。難しい課題ではあるが、飲酒基準の運用状況を適宜点検し、必要に応じた見直しも必要だと考えている。

航空連合 アルコール検査が過度な負担にならないようにする必要性は認識している。しかし、今はまだ、意識の定着に重きを置くフェーズであると考えている。直近でもアルコール検査の不正事案が発生しており、意識定着の取り組みを継続していく重要性を感じている。

代議員 リチウムイオン電池について、昨今モバイルバッテリーをお持ちのお客様が多い。バッテリー種類の多様化により、記載が無いものも増えている。バッテリー対応に関してスマートレーンと有人レーンで差異が生じていることや空港による対応の違いがあり、トラブルのもとになっている。何かしらの対応が必要ではないか。

航空連合 リチウムイオンバッテリー技術の進歩に伴う新製品への対応は、後手に回りがちだが、タイムリーに意見をいただき、関係省庁と共有して迅速な対応を図りたい。

**06 第23期役員の選出**

●会長 (1名)

内藤 晃 ANA労働組合

●副会長 (6名)

中尾 紀博 ANA労働組合
古藤田 裕 JAL労働組合
柳橋 愛海 ANAエアポートサービス労働組合
小川 俊信 JALグランドサービスグループ労働組合連合会
佐藤 大介 ジャムコ労働組合
川平 朝之 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合

●事務局長 (1名)

酒井 雄介 JAL労働組合

●副事務局長 (4名)

坂元 慎平 ANA労働組合
皆川 知果 JAL労働組合
松本 一彦 ANAエアポートサービス労働組合
又吉 謙 JALエンジニアリング労働組合

●中央執行委員 (20名)

佐藤 寛弥 ユニオン エア・ドゥ
山城 裕 日本トランスオーシャン航空労働組合
中村 義幸 JALエンジニアリング労働組合
大越 裕貴 ANA成田エアポートサービス労働組合

松木 宏史 ANA関西空港労働組合
斉田 弘毅 ANAベースメンテナンステクニクス労働組合
新垣 真一 JALスカイエアポート沖縄労働組合
藤倉 弘一 中部スカイサポート労働組合
當間 健理 羽田空港グランドサービス労働組合
竹腰 宏明 ジャルバック労働組合
石原 有紗 ANA X労働組合
佐藤 晃紀 JALUX UNION
桐谷奈望子 ANA労働組合
溝口 由紀 JAL労働組合
古瀬 由希 スターフライヤーユニオン
中井亜実瑠 JALグランドサービスグループ労働組合連合会
渡部 愛 ANA成田エアポートサービス労働組合
土井 崇子 ANA関西空港労働組合
碓本 萌 ジャムコ労働組合
上田あゆみ ANAあきんど労働組合

●会計監査 (2名)

大瀧 恵一 ANA労働組合
北原 史朗 JAL労働組合

●特別中央執行委員 (1名)

小林 茜 JAL労働組合

07 退任される第22期役員の方々

お疲れさまでした



08 内藤新会長あいさつ(要旨)

- 私たちの産業は、社会にとって必要な産業であり、存続しなければならないという強い確信を持っています。一方で、コロナによって社会の価値観が大きく変わっていることにも対応しなければ、たとえ事業が継続したとしても、私たち組合員の幸せを実現することは難しいという危機感も持っています。
- 「守るべきものは守り発展させ、変えるべきものは自らの意思で変化に挑戦する」という考えに基づき、運動を進めていく必要があります。
- 「守るべきもの」には組合員の雇用や生活、そして産業の存在の前提である「安全堅持」などがあると考えられます。「変えるべきもの」には、ひとつは、これまで以上に省力化、効率化を進めて「圧倒的な生産性向上」を実現し、仕事の品質や成果を高めていく必要があります。自分たちの会社だけでは解決ができない、業界や国としてのルール、空港など施設面での制約が壁になっていることもあります。「現場に策あり」です。航空連合は、業界全体でのイノベーションの推進等により、職場や会社の枠を超えて生産性を向上させ、やりがいのある職場環境をつくっていきます。そして、生産性向上で生み出した成果を働く人に適正に配分し、また次のイノベーションを生み出す好循環の実現をめざします。
- もうひとつ、組合の運動自体を変化することにも挑戦していく必要があります。航空連合の活動を参加しやすく、身近に感じていただけるよう、オンラインの活用や簡易な情報提供、仲間同士の交流の場、情報共有の機会を積極的に設けていきます。また、仲間同士のつながりは、先輩たちから築き上げられた航空連合の大変貴重な財産です。オンラインだけではなく、実際に対面で集うことができる機会を積極的に設けるとともに、リアルで参加するからこそできること、視察や勉強会、交流会などを設定し、素晴らしい財産である「仲間とのつながり」を実感し、危機を乗り越える原動力になるように進めていきます。
- 働きに見合った生活水準への早期回復という極めて重要な課題に取り組むことに加えて、働く仲間が仕事を通じてお客様に貢献できているという実感、自分や仲間が成長しているという実感を得ることで、いきいきと働くことができる環境を整備していく必要があります。今こそ、航空連合というチームで丸となって運動を推進し、「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間が誇りをもって働ける産業」の実現をめざしていきましょう。

**09 大会宣言の採択****航空連合 第23回定期大会 大会宣言**

航空連合は、1999年の結成以来、航空関連産業で働くすべての仲間の幸せを実現するため、産業の基盤である安全の確保、産業政策の実現、組合員の労働条件の向上や仲間の輪の拡大などに精力的に取り組み、多くの成果をあげてきました。第22期は、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響による未曾有の危機の中、産業の存続と雇用の確保に重点を置き、運営の工夫を重ね、精力的に取り組んできました。

航空・観光需要が激減し、収束の見通しが不透明な中、長期にわたって業務が減少している職場も多く、賃金も含めた労働条件の低下、経験のない職場への出向など、会社や自分自身の将来に対する率直な不安の声もあげられています。一方、そのような状況においても、安全運航や安心な商品・サービスの提供に懸命に向き合っている多くの仲間が、私たちの産業を支えていることを改めて認識する必要があります。

少子高齢化が進展する日本において、観光先進国の実現や、公共交通機関の役割を果たしていくことの重要性は、これからも一切変わりはありません。しかし、人々の移動や航空関連産業に対する価値観が大きく変化していることを見逃すことはできません。加えて、SDGs(持続可能な開発目標)の達成など、産業としても労働組合としても、より積極的な社会的課題への対応が求められています。私たちが自らの雇用を守り、産業を存続させ、その先のありたい姿を実現するためには、世の中の大きな環境変化に自らの意思で先んじて的確に対応していく必要があります。

私たちは航空労働界を代表する産業別労働組合としての責任と自覚を持ち、航空連合に集う56組合、47,317名の仲間との相互信頼を深め、英知を結集して、現状の危機を乗り越えていきます。そして、その先に航空連合のビジョン「いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業」を自らの手でつかみとることを宣言します。



2021年10月4日
航空連合第23回 定期大会
中央執行委員 礪本 萌



Facebook
フォローをお願いします!
facebook.com/jfaiu



Instagram始めました!



ニュース・航空連合へのご意見は
E-mailでお受けしています。

アドレス avinet00@jfaiu.gr.jp
ホームページ <http://www.jfaiu.gr.jp>

アルコール関連相談窓口をご活用ください。

航空関連産業での飲酒に係る不適切事象の根絶に向けて、定期航空協会が無料の相談窓口を設けております。航空会社に所属する方のみならず、航空連合加盟組織の皆様も利用可能です。相談内容は決して、勤め先企業にも定期航空協会にも伝わりませんので、お気軽にご相談ください。

